

▶ 幼児児童生徒の指導・支援について知りたいときは、こちらへご相談ください。

兵庫県立特別支援教育センター

〒651-0062
神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F

TEL **078-222-3604**

- ・「ひょうご学習障害相談室」ASD、LD、ADHD等 電話・来所教育相談
- ・ひょうご専門家チーム 各学校園への専門家の派遣
- ・教育相談
- ・高等学校における障害のある生徒等への進路指導ガイド
- ・特別支援教育に関する各研修 等

詳細については
こちらから



▶ 関係機関・連携先等

<p>教育 — 学校生活 学習状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県教育委員会事務局 特別支援教育課 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校のセンター的機能 ・地域別、障害種別の教育相談「支援マップ」 ・各特別支援学校一覧 ・通級による指導、合理的配慮等 ●各教育事務所 <ul style="list-style-type: none"> 阪神教育事務所 但馬教育事務所 播磨東教育事務所 丹波教育事務所 播磨西教育事務所 淡路教育事務所 ・スクールソーシャルワーカー ・エリアコーディネーター 	<p>保健 — 心身の健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県精神保健福祉センター <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療（精神通院医療）の審査・判定と交付事務 ●兵庫県自立支援医療(精神通院)指定医療機関一覧（病院・診療所） ●神戸市精神保健センター ●健康福祉事務所・保健所の精神保健福祉に関する相談窓口・精神障害者保健福祉手帳の申請 ●ひきこもり、不登校等の青少年を支援するひょうごユースケアネット支援機関ナビ ●兵庫ひきこもり相談支援センター 各地域ランチ
<p>医療 — 診察、診断、 与薬、治療等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県立こども発達支援センター ●兵庫県立ひょうごこころの医療センター ●発達障害の診断・診察のできる医療機関一覧 ●神戸市総合療育センター 	<p>労働 — 就労に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県内のハローワーカー一覧(兵庫労働局) ●兵庫障害者職業センター ●障害者就業・生活支援センター(兵庫労働局) ●若者サポートステーション
<p>福祉 — 福祉制度・ 福祉サービス等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ひょうご発達障害者支援センター クローバー各地域ランチ ●神戸市発達障害者支援センター ●市町発達障害相談窓口 ●市町の障害福祉担当窓口・療育手帳の申請 ●こども家庭センター(児童相談所) ●兵庫県立知的障害者更生相談所 	<p>etc. — その他 親の会等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県内LD親の会「たつの子」 ●大学等が運営する発達・心理相談室 ●一般社団法人 日本自閉症協会 ●一般社団法人 日本LD学会

詳細についてはこちらから ▶



兵庫県教育委員会事務局 特別支援教育課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1 TEL: 078-362-3774

兵庫県教育委員会 特別支援教育課



03教T2-003A3

先生が、個別の教育支援計画で私に関する情報を進路先に引継いでくれたので、安心して入学できました。

困った時はどこに相談するかを通級の授業で教えてもらったので、卒業後も相談に行っています。

「困った時は誰かに相談していいんだ」ということを知りました。



卒業生

つなごう！つなごう！
一人一人の未来のために
縦横(タテヨコ)連携で個に応じた
指導・支援から社会へ

「誰かに相談していいんだ
ということを知りました。」



教員

関係機関と連携し、ケース会議を開くことで一貫した指導・支援が可能になりました。

関係機関に相談し、専門的なアドバイスを受け、1人で抱え込むことがなくなりました。

関係機関との連携により、自信をもって本人・保護者の相談対応ができています。

I 連続性のある多様な学びの場における教育の充実
すべての学校園で取り組みつなぐ特別支援教育 縦の連携

II 連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実
早期から卒業後へ支えつなぐ特別支援教育 横の連携

(兵庫県特別支援教育第三次推進計画 平成31年3月)



なりたい自分に近づくために様々な支援を受けながらイラストレーターになった

Hさんの場合

縦横連携で個に応じた指導・支援から社会へ

様々な支援を受け、
人とつながりながら、
なりたい自分に向かって
生活している。

<p>● 保育所・幼稚園等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ごっこ遊びが苦手。 ● 1人で遊ぶことができ、ユニークな絵を描く。 ● 他者と、目を合わせることが難しい。 <p>連携</p> <p>▶ 3歳児健診で保護者は、保健センターの子育て教室に行くことを勧められた。</p> <p>⇒ 保護者は、保健師によるペアレントトレーニング*を受け、具体的な声かけ等を学んだことで、肯定的な関わりが増え、Hさんの表情が豊かになった。</p> <p>PRE SCHOOL</p>	<p>● 小学校 通級を始める</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業中の全体指示の内容が分からない。 ● 大人が目を見つめると居なくなる。 ● 持ち物が散らばっている。 ● 高学年になり、女子同士の会話についていけず、グループに入れない。 <p>連携</p> <p>▶ 教員は、エリアコーディネーター*に教室環境整備、授業改善のアドバイスを受けた。</p> <p>▶ 保護者は、相談支援事業所*に相談し、兵庫県立こども発達支援センターで、Hさんは「自閉スペクトラム症、ADHD」の診断を受けた。</p> <p>▶ Hさんは、保育所等訪問支援*を活用し、療育*を受けた。</p> <p>⇒ 教員による授業のUD化*により、Hさんは指示が分かり、安心して、落ち着いて過ごせた。</p> <p>⇒ 特性に応じた配慮が行われたことで、家庭での会話も増え、叱られることが減った。</p> <p>ELEMENTARY SCHOOL</p>	<p>● 中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 興味のあることは一方的に話す。 ● グループ活動などの集団活動が苦手。 ● 忘れ物、なくし物が多い。 ● 遅刻が増え、欠席が続き、昼夜逆転する。 <p>連携</p> <p>▶ Hさんは、スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けた。</p> <p>▶ Hさんは、保護者と兵庫県立特別支援教育センターで教育相談を受け、学び方の工夫や手立てについて、アドバイスを受けた。</p> <p>▶ 教員は、スクールソーシャルワーカー*に相談し、医療・保健・福祉と連携。</p> <p>▶ 適応指導教室*に通った。</p> <p>▶ 相談支援事業所*が、放課後等デイサービス*と保護者と教員とで支援方針会議を開いた。</p> <p>⇒ 忘れ物等を防ぐための効果的な方法を本人と確認し、メモをすること等で改善。</p> <p>⇒ 支援方針が1つになり、Hさんの生活が安定。</p> <p>Jr. HIGH SCHOOL</p>	<p>● 高等学校 通級を始める</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冗談が理解できず、他者との距離も近い、トラブル。 ● 初めてのこと、場所、人が多い場所は、緊張。 ● 課題提出が困難。 ● 絵を描くなど、自分の世界に没頭。 <p>連携</p> <p>▶ 教員は、ひょうご専門家チーム*派遣を活用し、専門的なアドバイスを受けた。</p> <p>▶ Hさんは、集団場面で緊張し、腹痛を起こすため、兵庫県立ひょうごこころの医療センターで受診した。</p> <p>▶ 本人・保護者・教員で合理的配慮*を検討し、定期考査を別室受験できるようにした。</p> <p>▶ Hさんは、クローバーに相談し、当事者のグループワークに参加した。</p> <p>▶ 障害者就業・生活支援センターに進路相談をした。</p> <p>⇒ コミュニケーション、リラクゼーション*の方法を知った。</p> <p>⇒ 得意・不得意を整理し、自己理解を深められた。</p> <p>⇒ スマホのアプリを活用し、課題提出ができた。</p> <p>⇒ 当事者の会で友達ができた。</p> <p>HIGH SCHOOL</p>	<p>● 大学(芸術系)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 喫茶店でのアルバイトで接客が不安。 ● 人間関係でストレスを溜める。 ● 掲示板の確認や課題提出期限を忘れる。 ● 就職活動始めるが行き詰まる。 <p>連携</p> <p>▶ Hさんは、学生相談室でカウンセリングを受けた。</p> <p>▶ 就職について、地域の保健福祉部に相談した。</p> <p>▶ 就労移行支援事業所*による支援を受けた。</p> <p>⇒ 人間関係の悩みが整理でき、リラクゼーションを生活に取り入れられるようになった。</p> <p>⇒ 自己理解が進み、困ったときには誰かに相談できるようになった。</p> <p>⇒ 山岳部に入り、余暇を楽しむ友達ができ、アルバイトを継続。</p> <p>⇒ 掲示板の確認や課題提出はスマホアプリを活用。</p> <p>UNIVERSITY</p>	<p>● 就職(再就職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 印刷会社に就職したが、上司の指示が理解できない。 ● 人間関係に緊張し、体調を崩し、退職。 <p>連携</p> <p>▶ Hさんは、当事者の会で知り合った友人に相談。</p> <p>▶ Hさんは、主治医に相談。</p> <p>▶ 民間の支援機関を探して相談。</p> <p>▶ 若者サポートステーションで就労支援を受けた。</p> <p>▶ 再就職について、ハローワークに相談。</p> <p>⇒ 当事者の友人を通じて登山サークルに入った。</p> <p>⇒ 創造性を生かし、イラストレーターとして再就職した。</p> <p>⇒ 自分で、得意不得意等を就労先に言える。</p> <p>WORK</p>
--	--	---	--	---	---

さまざまな関係機関とネットワークを活用して、児童生徒の自立と社会参加を目指します。

<p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー、キャンパスカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー ・エリアコーディネーター ・特別支援学校 ・ひょうご専門家チーム ・兵庫県立特別支援教育センター ・各市町教育センター ・各市町適応指導教室、兵庫県立やまびこの郷、兵庫県立神出学園、兵庫県立山の学校 等 	<p>保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の保健福祉部局 ・各市町の保健所 ・各地域の保健センター ・兵庫県精神保健福祉センター ・ひきこもり総合支援センター ・兵庫ひきこもり相談支援センター ・各地域ランチ ・神戸ひきこもり支援室 等 	<p>福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の保健福祉部局 ・各市町福祉窓口 ・こども家庭センター(児童相談所) ・各市町児童発達支援センター ・ひょうご発達障害者支援センター ・クローバー 各地域ランチ ・障害者福祉センター 等
<p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町の総合医療センター ・兵庫県立総合医療センター ・兵庫県立こども発達支援センター ・兵庫県立ひょうごこころの医療センター ・地域の医療機関 ・主治医 等 	<p>労働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク ・地域障害者職業センター ・障害者就業・生活支援センター ・若者サポートステーション 等 	<p>etc. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親の会 ・NPO ・地域の活動グループ ・当事者の会 ・民間相談の支援相談施設 ・大学院に設置の支援相談室 ・警察、青少年サポートセンター ・法テラス 等